

大学・高専機能強化支援事業（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

| | | | | | |
|------|-------|-------|-----|--------|------------------------------|
| 選定年度 | 令和5年度 | 学校コード | | 設置等組織名 | 博多大学（仮称）データサイエンス学部データサイエンス学科 |
| 大学名 | 博多大学 | 設置区分 | 大学 | 事業計画名 | 博多大学（仮称） 学部の新設 |
| 学校種 | 私立 | 都道府県 | 福岡県 | | |

1. フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画が変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下2つの場合に、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

| 事業期間 | 事業計画 | 取組状況 | 自己評価、課題（理由）とその対応 | |
|-------|--|--|--|--|
| フェーズ1 | <p>第4次産業革命が世界で進む中、我が国はデータ駆動型社会（データが十分に活用されることで技術革新・生産性向上・技能伝承などの課題が解決されて持続発展する社会）であるSociety5.0を目指しているが、これを支えるデジタル人材が全ての産業で不足している。また、少高齢化の進展で医療・福祉への国民負担が加速する我が国においては、ヘルスケア産業の合理化・省コスト改革を担うデジタル人材供給はとくに急がれる。求められている主なデジタル人材として、データエンジニア、データアナリスト、データサイエンティストが挙げられる。我が国および欧米の人材ニーズを踏まえ、持続可能な供給不足が危惧される企業経路におけるデータ駆動型意思決定を支援する経営・データアナリスト、②ヘルスケア産業におけるデータリノベーション改革を担うヘルスケアデータアナリスト、③AI・機械学習による分析技術構築で課題を解決する予測モデル・データサイエンティスト、④情報セキュリティを担うホワイトハッカーたるセキュリティデータエンジニア、の養成を目的にデータサイエンス学部を新設する事業計画を立案した。</p> <p>新たに大学、学部を設置する場所として、九州の経済の中核である福岡市内の博多を選定した。博多は九州の企業が多く本社なし支店を設置し、特定成長分野の人材を必要としている地域である。大学の設置の認可を受けた後は、事業家として地元で高く評価されている理事長候補者が地元企業と本設置構想に関する協議を進め、本構想学部の教育で予定する企業と学生のマッチングにも役立つ企業へのインターンシップ学生派遣に関する協力協定の締結先を広げたい計画である。また、設置予定の共同研究設備を用いた地方自治体との連携の仕組みも構築したいと考えている。九州地方に広く福岡近郊地域における小規模の自治体のDX化を支援するために施設設備（高速大容量通信サーバの共同利用設備）を開放して共同活用することで、データリノベーションの地域社会作りを支援する自治体行政システムDX化に貢献したいと考えている。さらに、地域の産業界および自治体との連携を深め、卒業生の地域就職を支援して、地方創生に資する大学とすることを目標としている。令和5年6月、2新大学・学部の校舎建築（増築する既存棟）に関する設計作業を完了し、産業界において戦力となる人材を育成するためのカリキュラムの策定を行っている。様々な産業界で実務を担える人材となるための教育プログラムを準備する計画である。教育プログラムの大きな特徴の一つとして、主専攻と副専攻制度を設定する。データサイエンス系知識・技術を修得するための60単位からなる主専攻（データサイエンス基礎科目群）を必修科目として履修した後、3年後半より専門分野のデータ分析技術修得のための20単位からなる副専攻（専攻の実践演習科目群）を1つ以上修得する制度を採用する。副専攻として、①企業経営におけるデータ駆動型意思決定を支援する分析技術学部経営・データアナリティクス副専攻、②ヘルスケア産業におけるデータリノベーション改革を担う分析技術学部ヘルスケア・データアナリティクス副専攻、③AI・機械学習による分析モデル構築で課題を解決する分析技術学部予測モデル・データサイエンス副専攻、④情報セキュリティを担うホワイトハッカーたる分析技術学部セキュリティデータエンジニア副専攻を準備する。</p> <p>なお、大学の開設に伴う認可申請は、令和5年10月に行う予定である。</p> <p>11月以降には新大学・学部の校舎整備に向けた既存棟改修・新築建築の詳細設計を行う計画である。入学希望者は、高校における文系・理系を問わず、志望動機および学習意欲の強さを高く評価する。そのため、入学時に高校の授業内容を学ぶ学部基礎課程科目群を設定して、個別学習型に対応する。認可後の学生募集において広く広報するため、広報活動に力を入れる。</p> | <p>令和5年1月（一社）考査経営研究所による新大学設置に関する検討・準備（校地・校舎の準備含む）</p> <p>令和5年5月 博多大学（仮称）設立準備委員会の設置</p> <p>令和5年5月 博多大学（仮称）および学校法人博多大学（仮称）の設置認可申請の準備作業</p> <p>令和5年5月 フェーズ1計画への申請</p> <p>令和5年5月 新大学・学部の校舎建築（増築する既存棟、改築する既存棟）に関する設計作業</p> <p>令和5年10月 博多大学（仮称）および学校法人博多大学（仮称）の設置認可申請</p> <p>令和5年11月 新大学・学部の校舎整備に向けた既存棟改修の詳細設計</p> <p>令和6年1月 新大学・学部の校舎整備に向けた新築建築の詳細設計</p> <p>令和6年2月 認可申請に向けた設置準備書の開設・拡充、申請作業、学生受入準備開始 (R6.10.21承認)</p> | <p>R5年度自己評価</p> <p>【3】計画を十分に実施している。</p> | |
| | | | <p>R6年度自己評価</p> <p>【2】計画を十分に実施していない。</p> <p>大学設置審査の過程で受けた指摘事項への対応の不備、とくに財産収納に関する手続き上の遅延があったこと、および建築工事遅延による引渡時期の延期にもなって学生受入準備が間に合わなかったことにより、これらの原因を取り除いて万全の学生受入準備を整えるため、事業のスケジュールを一年間の延期を検討した。事業計画の変更承認申請を10月に行い、機構より10月21日に承認を受け、令和6年度は継続して、設置認可申請を行った。指摘事項への対応と財産収納に関する手続きに関する遅延は解消した上で、令和6年10月に認可申請を行った。</p> | |
| | | | <p>○年度自己評価</p> <p>以時から選択して下さい。</p> | |
| | 認可申請又は届出 | 令和5年10月 博多大学データサイエンス学部データサイエンス学科 設置認可申請予定 | 令和6年10月16日 博多大学データサイエンス学部データサイエンス学科 設置認可申請 | |
| | フェーズ2 | <p>フェーズ2では、令和7年4月に博多大学データサイエンス学部（建設予定地：福岡市博多区）を開設して収容定数640名を確保し、令和6年9月から既存施設（3050㎡）の改修を予定し、新学部校舎（4800㎡）の建築を開始する。令和6年12月に既存施設の教育研究校舎の整備を終了して翌年4月の新入学生160名を受け入れる。令和6年4月には新二年生を含めた全員を新学部校舎に移す。新学部校舎には、授業・演習のための講義室・演習室・教員室・事務室、学生の福利厚生に必要な食堂も設置する。また、データサイエンス教育に必要なデジタル教育機器類と、ICTハブ空間的な整備を充実させる予定である。</p> | <p>令和6年2月 新大学・学部の校舎整備に向けた既存棟の改修工事（令和6年12月完成）</p> <p>令和6年9月 校舎建築予定地にある既存建築物の撤去完了（R6.10.21承認）</p> <p>令和6年10月 校舎建築予定地の事土地整備の完了（R6.10.21承認）</p> <p>令和6年10月 新大学・学部の校舎整備に向けた新築の建築工事（令和8年3月竣工・引渡） (R6.10.21承認)</p> | <p>R6年度自己評価</p> <p>【2】計画を十分に実施していない。</p> <p>建築工事遅延による引渡時期の延期の見通しとなったため、事業計画の変更承認申請を10月に行い、機構より10月21日に承認を受けた。建築遅延の主たる原因は、建築確認の申請中に、建築予定地に遺跡が存在する可能性があるためボーリング調査をしたことによる福岡市からの連絡があり、その調査に予定外の日程を費やしたことによる。その他、建築予定地に埋設されていた障害物（土地売買重要事項に記載の無い敷地埋設物基礎）が出現し、その解体撤去に予定外の日程を要したことによる。上記の遅延理由は解消し、新築工事の着工に資して工事が進められている。竣工時期が開学予定の前年度末となったが、開学年度（一学年）の前期授業は既存棟での履修であるため新入の受け入れに支障は生じない。</p> |
| | | 開設又は定員増 | 令和7年4月 データサイエンス学部開設予定（入学定員160名、理学関係） | 令和8年4月 データサイエンス学部開設予定（入学定員160名、理学関係） |
| フェーズ3 | <p>3年次以降に開講する専門教育科目においては、教育を担当する教員の4分の1は常に社会の現状を反映した教育を行うように実務家教員を配置することとし、この実務家教員の確保についてはICT推進に意欲的に取り組む企業からクロスポイント制度を利用して採用する。実務家教員として採用するデータ系技術者は福岡近郊のICT推進に実績のある企業に所属する技術者を予定している。これら実務家教員が専門教育の重要科目を担当することで常に現実社会のニーズを反映した専門技術教育を進める教育課程の魅力を、高大連携やオープンキャンパスなど様々な場面を通じて、高校生に伝えることで入学希望者の確保に繋げる計画である。また、実務家教員を中心とした教育陣で学生とインターンシッププログラムについても支援する体制を構築し、実社会と連携した教育と就職を特徴とする学部学科の魅力も高校生に伝える。</p> <p>クロスポイント制度の提供先となるICT推進企業から、①企業経営におけるデータ駆動型意思決定を支援する分析技術学部経営、データアナリティクス副専攻科目群の専門科目担当者1名、②ヘルスケア産業におけるデータリノベーション改革を担う分析技術学部ヘルスケア・データアナリティクス副専攻科目群の専門科目担当者1名、③AI・機械学習による分析モデル構築で課題を解決する分析技術学部予測モデル・データサイエンス副専攻科目群の専門科目担当者1名、④情報セキュリティを担うホワイトハッカーたる分析技術学部セキュリティデータエンジニア副専攻科目群の専門科目担当者1名、の計4名をクロスポイントにて採用し、実務家教員として配置する。クロスポイント教員名の半、半数以上を教員として、比較的短期間で教員の入れ替わりを推進し、実社会の変化を敏感に反映した専門教育がなれるように計画する。</p> <p>企業や自治体と連携したPBL演習科目を専門応用科目として導入する副専攻の全てに取り入れ、企業や自治体の課題を具体的に解決する課題を取り組む授業を展開する計画である。これら企業や自治体と連携したPBL演習科目を展開するためにも、その基盤となる底層基盤を推進する場として設置予定の共同研究施設（高速大容量通信サーバの共同利用設備）を用いた地方自治体との連携の仕組みを構築する計画である。</p> <p>グローバルにデジタル化が進む海外大学と連携した教育研究の推進は不可欠であり、単位互換制度の充実や交換留学プログラムの充実を図る大学間交流を促進する計画である。また、日本でも徐々に認知度が高まっているMOOCs（Massive Open Online Course）に参画することでグローバルチームとして大学・企業が連携して授業や講座を構築し、インターネットを通じてオンライン配信する計画している。参加するMOOCsとして、2019年9月現在で196の大学・企業と提携し、3,751の講座と16の学位を提供しているCourseraを検討している。</p> <p>入学者は、文系・理系を問わず、また普通高校のみではなく、商業高校や工業高校の卒業生が入学できる入試科目の設定、選抜方法を採用する計画である。女子学生の確保の面でも、データサイエンス学科の教育内容を高等学校に周知する広報の取組に注力し、文系・理系の別がない教育プログラムであることの理解を促す広報を行う。</p> <p>入学者の内、高等学校の学習において数学等の履修が不足する学生に対してはこれを補完する基礎的授業を初年度の前期に集中して開講し、大学の講義に問題が参加できるように対応する。また、高大連携、出前講座、オンライン教材（対面補修教材）を認めて、データ駆動型社会に向けたデータエンジニア、データアナリスト、データサイエンティストがどのような役割を担ってそれぞれの職場で働くのかについて、正しい職業イメージの定着を図る計画である。</p> <p>リソースを定期的に開設して社会人のスキルアップを支援し、また、社会人入試を導入して社会人学生の受け入れを強化する計画である。留学生の受け入れについては注力する考えで、中核は近郊アジア諸国からの留学生受け入れについてはできるだけ早期に進める計画で、教員候補者らのこれまでの留学生支援実績を基盤として具体的な対象国を絞った効果的な留学生受け入れプログラムを構築し、教員候補者のコネクションを活用した海外広報を展開する計画である。</p> | | <p>○年度自己評価</p> <p>以時から選択して下さい。</p> | |
| | | | <p>○年度自己評価</p> <p>以時から選択して下さい。</p> | |
| | 定員減又は学部等の廃止 | | | |

| | | | |
|-------------|-------|-----|------|
| フォローアップ対象年度 | 令和5年度 | 大学名 | 博多大学 |
|-------------|-------|-----|------|

2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- iii) 私立大学等経常費補助金において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|

3. 申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

| | | | | | | |
|----------------------|--|----------------------|--|-------------|--|--|
| ① | 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">確認を受けている</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>確認の対象に該当しない</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 確認を受けている | <input type="checkbox"/> チェック | 確認の対象に該当しない | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | |
| 確認を受けている | <input type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| 確認の対象に該当しない | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ② | 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ③ | 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の特組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。） | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ④ | 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑤ | 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑥ | 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑦ | 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑧ | 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑨ | 入学定員が20名以上増加する計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑩ | 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。） | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる、又は設置等を行った | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる、又は設置等を行った | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑪ | 大学の収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑫ | フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |

| | | | |
|-------------|-------|-----|------|
| フォローアップ対象年度 | 令和6年度 | 大学名 | 博多大学 |
|-------------|-------|-----|------|

| | | |
|---|---|--|
| ② | 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。 | |
| | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
| ③ | 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。 | |
| | 計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
| ④ | 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。 | |
| | 認定を受けておらず申請する意向もない | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |

4. 調査項目における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|--|-------------|
| 企業や自治体と連携したPBL演習科目を専門応用科目として導入する副専攻の全てに取り入れ、企業や自治体の課題を具体的に解決する課程を取り入れる取組を推進する計画である。これら企業や自治体と連携したPBL演習科目を展開するため、その基盤となる産学官連携を推進する場として設置予定の共同研究施設（高速大容量通信やパソコンの共同利用設備を備える）を用いた地方自治体との連携の仕組みを構築する計画である。 | 4つの専攻領域の内容に特化したPBL演習科目を取り入れ、企業や自治体の課題を具体的に解決する課程を学ぶカリキュラムを策定し、認可申請を行なった。なお、教育の充実や研究の推進に必要な設備として、高速大容量通信やコンピュータ・サーバーコンピュータの導入を含んだ申請である。大学設置認可後は、単位互換制度の充実や交換留学プログラムの充実を図るため、大学間交流を進める計画を検討している。具体的にはMOOCsに参加することも検討し、プラットフォームを介して大学・企業と広く連携して授業や講座を構築し、インターネットを通じてオンライン配信することを計画している。 | |

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスクリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|--|---|-------------|
| 文系・理系を問わず、また普通高校のみではなく、商業高校や工業高校の卒業生が入学できる入試科目の設定、選抜方法を採用する計画である。女子学生の確保の面でも、データサイエンス学科の教育内容を高等学校に周知する取組に注力し、文系・理系の別がない教育プログラムであることの理解を深める広報を計画している。また、高大連携、出前講座、オープンキャンパス（対面開催およびネット開催）を通じて、データ駆動型社会においてデータアナリスト、データサイエンティストなどの役割を担ってそれぞれの職場で働くのについて、正しい職業イメージの定着を図る計画である。リカレント講座を定期的に開設して社会人のリスクリングを支援し、また、社会人入試を導入して社会人学生の受け入れを強化する計画である。留学生の受け入れについては注力する考えで、中でも近隣アジア諸国からの留学生を受け入れについてはできるだけ早期に進める計画で、教員候補者からのこれまでの留学生支援実績を基盤として具体的な対象国を絞った効果的な留学生受け入れプログラムを構築し、教員候補者のコネクションを活用した海外広報を展開する計画である。 | 文系・理系を問わない入試科目の設定と普通高校のみではなく、商業高校や工業高校の卒業生が入学できる選抜方法を策定して設置認可申請を行なった。大学の認知度を上げるための広報活動の一環として、大学の概要を示したPフラットやポスターの作成といった広報媒体の製作に取り組んだ。実際の広報活動としては、福岡県内および隣接県にある高校を訪問し、丁寧な大学の説明を実施した。文系・理系を問わない学部であることと教育内容の周知を行う活動を進めている。なお、九州全域の広報活動も検討中であり、大学の認知度及び学生確保のための説明会の実施や高校訪問を計画中である。また、高大連携、出前講座、オープンキャンパス（対面開催およびネット開催）を通じて、データ駆動型社会においてデータエンジニア、データアナリスト、データサイエンティストがどのような役割を担ってそれぞれの職場で働くのについて、正しい職業イメージを高校生に伝えるための活動を継続的に実施する計画である。また、近隣アジア諸国からの留学生受け入れについては、日本語教師の資格を持つ教員予定者と受け入れ体制についての検討を進めている。 | |

| | | | |
|-------------|-------|-----|------|
| フォローアップ対象年度 | 令和6年度 | 大学名 | 博多大学 |
|-------------|-------|-----|------|

2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|

iii) 私立大学等経常費補助金において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|

v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

| | |
|------|--|
| 該当無し | <input checked="" type="checkbox"/> チェック |
|------|--|

3. 申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

| | | | | | | |
|----------------------|---|--|--|-------------|--|--|
| ① | 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>確認を受けている</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>確認の対象に該当しない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 確認を受けている | <input type="checkbox"/> チェック | 確認の対象に該当しない | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | |
| 確認を受けている | <input type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| 確認の対象に該当しない | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ② | 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ③ | 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。） | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ④ | 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑤ | 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑥ | 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑦ | 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑦ | 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑧ | 入学定員が20名以上増加する計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑨ | 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。） | 当初、令和7年度4月開設予定であったが、大学設置審査の過程で受けた指摘事項への対応の不備、とくに財産収納に関する手続き上の瑕疵、および建築工事遅延による引渡時期の延期にともない、事業遅延届を提出し、令和8年度開設に変更した。 | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる、又は設置等を行った | <input type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる、又は設置等を行った | <input type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑩ | 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |
| ⑪ | フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。 | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table> | 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | |
| 計画通りに進んでいる | <input checked="" type="checkbox"/> チェック | | | | | |

| | | | |
|-------------|-------|-----|------|
| フォローアップ対象年度 | 令和6年度 | 大学名 | 博多大学 |
|-------------|-------|-----|------|

| | | |
|---|---|--------|
| ⑬ | 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。 | |
| | 計画通りに進んでいる | ■ チェック |
| ⑭ | 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体性に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。 | |
| | 計画の具体性に努め進捗報告を行い、会議に参加した | ■ チェック |
| ⑮ | 文科科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。 | |
| | 認定を受けておらず申請する意向もない | ■ チェック |

4. 審査項目における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施でき、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|---|-------------|
| 企業や自治体と連携したPBL演習科目を専門応用科目として導入する副専攻の全てに取り入れ、企業や自治体の課題を具体的に解決する課程を学び取る授業を展開する計画である。これら企業や自治体と連携したPBL演習科目を展開するためにも、その基盤となる産学連携を推進する場として設置予定の共同研究施設（高速大容量通信やスロコンの共同利用設備を擁する）を用いた地方自治体との連携の仕組みを構築する計画である。 | 4つの専攻領域の内容に特化したPBL演習科目を取り入れ、企業や自治体の課題を具体的に解決する課程を学ぶカリキュラムを策定し、認可申請を行なった。なお、教育の充実や研究の推進に必要な設備として、高速大容量通信やワークステーション約200台を配置する演習室の設置および卒業研究などに活用するコンパクト・スーパーコンピュータの導入を含んだ計画を申請している。 大学設置認可後は、単位互換制度の充実や交換留学プログラムの充実を図るため、大学間交流を進める計画を検討していく。具体的にMOOCsに参加することも検討し、プラットフォームを介して大学・企業と広く連携して授業や講座を構築し、インターネットを通じてオンライン配信することを計画している。 | |

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受け入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受け入れ強化に向けた取組

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|--|---|-------------|
| 文系・理系を問わず、また普通高校のみではなく、商業高校や工業高校の卒業生が入学できる入試科目の設定、選抜方法を採用する計画である。女子学生の確保の面でも、データサイエンス学科の教育内容を高等学校に周知する広報の取組に注力し、文系・理系の別がない教育プログラムであることの理解を深める広報を計画している。また、高大連携、出前講座、オープンキャンパス（対面開催およびネット開催）を通じて、データ駆動型社会においてデータエンジニア、データアナリスト、データサイエンティストのような役割を担ってそれぞれの職場で働けることについて、正しい職業イメージの定着を図る計画である。リカレント講座を定期的に開設して社会人のリスキリングを支援し、また、社会人入試を導入して社会人学生の受け入れを強化する計画である。留学生の受け入れについては（くに）に注力する考えで、中でも近隣アジア諸国からの留学生受け入れについてはできるだけ早期に進める計画で、教員候補者からこれまでの留学生支援実績を基盤として具体的な対象国を絞った効果的な留学生受け入れプログラムを構築し、教員候補者のコネクションを活用した海外広報を展開する計画である。 | 文系・理系を問わず入試科目の設定と普通高校のみではなく、商業高校や工業高校の卒業生が入学できる選抜方法を策定して設置認可申請を行なった。また、女子学生の進学を支援するための女子総合型選抜入試を導入する。 大学の認知度を上げるための広報活動の一環として、大学の概要を示したパンフレットやポスターの作成といった広報媒体の製作に取り組んだ。 実際の広報活動としては、福岡県内および隣接県にある高校を訪問し、丁寧な大学の説明を実施した。文系・理系を問わず入試科目であることと教育内容の周知を行なう活動を進めている。なお、九州初のデータサイエンス学部であるため、学問領域の認知度を高めるために予定教員によるデータサイエンス公開講座、および大学説明会を実施して学生確保の活動を進めている。また、九州全域への広報活動も計画中で、さらには、高大連携、出前講座、オープンキャンパス（対面開催およびネット開催）を通じて、データ駆動型社会においてデータエンジニア、データアナリスト、データサイエンティストのような役割を担ってそれぞれの職場で働けることについて、正しい職業イメージを高校生に伝えるための活動を継続的に実施する計画である。 一方、近隣アジア諸国からの留学生受け入れについては、日本語教師の資格を持つ教員予定者3名を中心に、留学生の受け入れ体制の整備を進めている。 | |

| | |
|-----|------|
| 大学名 | 博多大学 |
|-----|------|

3.大学（学士課程）の状況

| 年度 | | | | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 | R19年度 | R20年度 | R21年度 | R22年度 | R23年度 | |
|------------|--------|---------------|----|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 大区分 | 小区分 | 項目 | 単位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学生の入学・在籍状況 | 春季入学 | 入学定員 | 人 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他の学期 | 入学定員 | 人 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 入学者合計 | 入学定員(A) | 人 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数(B) | 人 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学定員充足率 (B/A) | 倍 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 収容定員等 | 収容定員(C) | 人 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学定員 | 人 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 在籍者数(D) | 人 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学者数 | 人 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 収容定員充足率 (D/C) | 倍 | *** | *** | *** | | | | | | | | | | | | | | | | | |

4.外部資金の状況（全学）

| 年度 | | | R1年度 | R2年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 |
|---------|----|--|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 改組状況 | | | 選定-5年 | 選定-4年 | 選定-3年 | 選定-2年 | 選定-1年 | 選定 | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 単位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部資金獲得額 | 千円 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | |

| 項目 | 単位 | |
|---|----|-----------|
| 申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E) | 千円 | 0 |
| 本事業による助成金の額(F) | 千円 | 1,008,850 |
| 「E」×3の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%) | 千円 | 25,221 |

特記事項